

阿波市議会だより

第64号

年4回発行 [令和4年9月1日]

発行/阿波市議会 編集/議会広報特別委員会
〒771-1695 徳島県阿波市市場町切幡字古田 201 番地 1
TEL. 0883-36-8750 FAX. 0883-36-8764
ホームページアドレス <https://www.city.awa.lg.jp/gikai/>



令和4年第2回 阿波市議会定例会の概要

第2回定例会は、6月6日から6月29日までの24日間の会期で開かれました。開会日には表彰状の伝達があり、全国議会議長会からは、原田定信議員、木村松雄議員、松村幸治議員が表彰され、四国市議会議長会からは、松村幸治議員、木村松雄議員、森本節弘前議員、榎原伸議員、川人敏男前議員、笠井一司議員が表彰されました。続いて藤井市長から、吉野庄境集会所の完成披露会、日本郵便株式会社との包括的連携に関する協定書締結式、阿波高校の生徒がデザインしたイメージイラストの起用、自主防災組織連合会主催の防災訓練等についての行政報告と、四国市長会議における国への要望事項等について説明がありました。また、令和4年度一般会計補正予算、条例の一部改正などの議案について概要と提案理由の説明がありました。

代表・一般質問は6月16日、17日、20日の3日間にわたり行われ、15人が市政全般について理事者の考えを問ひ、地方創生・環境・教育・健康福祉・農業関係・建設・情報・観光・財政等について議論しました。22日に総務、23日に文教厚生、24日に産業建設の各常任委員会を開催し、付託された議案の審査を行いました。閉会日には、委員長による各常任委員会の審査報告があり、請願を除く市長提出議案をいずれも可決しました。追加議案として、予算案件1件、人事案件1件、議員発議の意見書1件が提出され、いずれも可決・適任としました。

代表質問

原田 定信 議員
(志政クラブ)



問 17年前に合併した時の人口約4万1,000人から間もなく3万5,000人を切るくらい人口の減少に達しており、20人の議員に対して定数削減の問題が浮上している。事業を営む各部においてどのように考えているか。

答 本市では、第2次阿波市総合戦略に基づき、人口減少問題の克服と持続可能な地域づくりを目指し、出生率の向上、転入促進等、人口減少に歯止めをかける事業に取り組んでいる。各部署が連携し一体となるプロジェクトチームを設置する等、全庁一丸となった子育てしやすい体制づくりを進めているところである。

問 阿波市の過疎の認定が報道されたが、過疎対策事業債等を活用して、休校している大影小学校を働く人達の複合住宅へと再生できないか。

答 現在、市内小学校10校、中学校4校に1日当たり2,600食を年間約200日間給食の提供を行っている。



笠井 安之 議員
(はばたき)

問 第2次阿波市総合計画について。前期基本計画と後期基本計画の違いは何か。

答 本市の施策の中心である安全・安心のまちづくり、活力あふれるまちづくり、子育て応援のまちづくりの3本の柱を重点テーマに定め、脱炭素社会の実現やアフターコロナを見据えた戦略、デジタル化、地方創生の推進を強化していく。

問 阿波市学校給食の現状はどうなっているのか。

答 現在、市内小学校10校、中学校4校に1日当たり2,600食を年間約200日間給食の提供を行っている。

とった。今後5年間、一度も水稲の作付けを行わない農地を、令和9年度以降交付対象外とする見直しを行い、水稲と転換作物のブロックローテーションを促すことを目的としている。

問 「谷川の土手へのポイ捨てがひどい」と言われる。実態と今後の対応について。

答 阿波市全域において、河川や道路脇など人目につかない場所での不法投棄が見受けられる。対策としては、パトロールの実施や、啓発用看板の設置、地域のボランティア団体がごみ拾いをする場合、ごみ袋の無償提供と収集されたごみの回収、議員や市職員による4町を順に実施している美化清掃ボランティアの取組の発信等、不法投棄防止の啓発を行う。(今年度は土成町)

一般質問

中野 厚志 議員
(日本共産党)



問 令和5年10月から導入されるインボイス制度はどのようなものか。それによる市民生活への影響をどう考えているか。

答 事業者が登録番号と取引内容や消費税額等を記載した適格請求書、いわゆる「インボイス」を発行、保存することにより、消費税額の控除が受けられる制度。免税事業者が登録をうけるかどうかは任意となる。インボイス制度は事業者間の取引に係る制度であることから、消費者としての市民生活への影響はないと認識している。

問 令和4年度水田活用の直接支払交付金の拡充・見直しの目的は。

答 交付金を直接交付すること水田のフル活用を推進し、主食用米からの転作を促す措置をとった。今後5年間、一度も水稲の作付けを行わない農地を、令和9年度以降交付対象外とする見直しを行い、水稲と転換作物のブロックローテーションを促すことを目的としている。

後藤 修 議員

(はばたき)



問 あわめぐりの予約成立率の低下について今後どのように対応していくのか。また、交通計画策定に伴い実施予定の公共交通に関するアンケートの方針及びスケジュール案は。

答 予約成立率低下については予約窓口で細かい運行調整を行い、予約成立率の向上に取り組んでいく。また、アンケート調査については、秋頃までの実施に向け準備を進めている。

問 令和7年8月の稼働開始に向け地元7つの自治会の皆様に対して、昨年度に継続して説明や協議をしている。加えて建設に必要な調査についても取り組んでいる。ごみ処理方式は、環境やコスト面で優れた燃料化方式やコスト面で優れた燃料化方式、事業方式は公設民営方式の採用を決定している。建設については遅くとも令和5年度に着工したい。

入居者の自己負担により修繕してもらっている。

問 子宮頸がんワクチンの阿波市での接種状況と、9価ワクチンの公費接種について。

答 令和2年度は33人、令和3年度には79人が接種を受けている。また、9価ワクチンの助成については、国の状況を注視し検討していく。

藤本 功男 議員
(はばたき)



問 多様な人材が生きて活躍できるまちづくりを、どのように推進していくのか。

答 高齢者が主体となって地域社会に貢献する活動の支援(阿波市いきいきシニア活動支援事業)、障がい者の自立と社会参加の支援(農福連携事業)、男女共同参画等の取組を進めている。

問 令和2年5月から令和4年5月までの間に、技能実習生は374人から272人へ、特定技能1号は3人から34人へと変化している。

問 外国人への支援について。

答 市のホームページで情報を多言語で知らせ、県を通じて相談対応を行っている。今後、外国人の方の増加が見込まれることから、安心して暮らせるように市内横断的な連携を図りながら、支援策を講じたい。

問 阿波市のパートナーシップ制度は、どのように動いているのか。

答 本年度の導入に向けて検討している。性的少数者に対する市民への理解を促し、ひいては差別や偏見の解消が図られると期待している。

問 教職員の働き方改革は進んでいるのか。

答 タイムマネジメントの徹底、業務改善のさらなる推進、外部人材の積極的活用、部活動の適正化など、徳島の学校における働き方改革プランに沿いながら

活動状況報告

委員会等の開催状況（6月～8月）

令和4年6月6日	令和4年第2回阿波市議会定例会本会議（開会） 議会改革特別委員会
16日	令和4年第2回阿波市議会定例会本会議（代表・一般質問）
17日	令和4年第2回阿波市議会定例会本会議（一般質問）
20日	令和4年第2回阿波市議会定例会本会議（一般質問） 全員協議会
22日	総務常任委員会 地域活性化特別委員会
23日	文教厚生常任委員会
24日	産業建設常任委員会
29日	令和4年第2回阿波市議会定例会本会議（閉会） 全員協議会
7月19日	全員協議会
8月16日	広報特別委員会
22日	議会運営委員会 全員協議会
29日	令和4年第3回阿波市議会定例会本会議（開会） 議会改革特別委員会

問 改善に努める。
答 ニーズに沿った研修ができていないのか。
問 授業研修等は、授業改善や指導力を高めるための研修を工夫しながら開催している。また、徳島型メンター制度の活用やICTに関する研修などニーズに応じた研修をしている。
問 学校現場での人材確保はできているのか。
答 阿波市内の学校では、教員不足の状況はなく、適正に配置されている。

北上 正弘 議員 (公明党)



問 インフルエンザの予防接種の助成について。助成対象を18歳以下まで拡張してはどうか。
答 高齢者等のインフルエンザワクチンに対しては一部助成を行っている。子どもへの接種については、国の動向を注視しながら引き続き研究をしていく。

の考えは。

答 本市は、他市と比べても十分な観光資源に恵まれており、観光協会等の関係機関と連携しながら観光振興に取り組んでいる。郷土を愛する心から自主的に実施された、土柱の日のイベントを皮切りに、市内の観光スポット周辺においても、同様の取組や、考え方が広がるものも期待している。

問 地域コミュニティの活性化について。現在の自治会や地域活動への支援等、及び地域活動の持続向上策、並びに推進について。
答 地域活動における次世代の担い手の確保や、地域住民の継続的な活動に対し支援していく。

黒川 理佳 議員 (無所属)



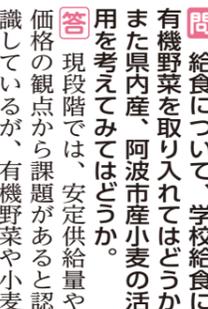
問 阿波つ子条例について、制定までの経緯とどのような効果があるのか、また今後の展開は、条例の制定については、これまでの施策を有機的に結び付け、市全体で質の高い子育てに取り組み、プロジェクトチームで協議した案が関係各位

市議会において承認されたこと

で、本年の4月1日施行となった。特に罰則等はないが、子どもを応援していく意識の醸成を目的としている。市役所での懸垂幕の掲揚や、郵政と連携したPR活動等の啓発を行い、地域全体で子育てを支えあう体制づくりに積極的に取り組んでいく。

問 農業について、みどりの食料システム戦略に対する阿波市の見直しは、また、オーガニック・ビレッジ補助金についてはどうか。
答 本年度改定予定の第3次阿波市農業振興計画の中で、持続可能な食料システムの構築を目指し、阿波市のみどり戦略の在り方、方向性を反映させていく。オーガニック・ビレッジについては、関係機関と連携して協議を進め、調査研究を重ねていく。

武澤 豪 議員 (志政クラブ)



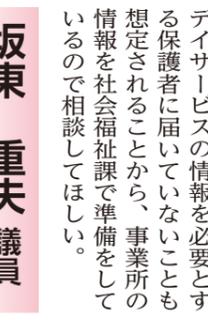
問 阿波市の学校におけるスクールカウンセラーの人数と、学校単位での相談時間と利用率は。
答 阿波市では4名配置しており、週1回5時間、年間35週175時間の勤務で、吉野中学校30時間、17.1%、土成中学校156時間、89.1%、市場中学校100時間、57.1%、阿波中学校175時間、100%の利用率となっている。

談時間が十分確保できるよう

勤務時間や配置数を増加してもらえようとする。また、子どもを応援していく意識の醸成を目的としている。市役所での懸垂幕の掲揚や、郵政と連携したPR活動等の啓発を行い、地域全体で子育てを支えあう体制づくりに積極的に取り組んでいく。

問 阿波市が放課後等デイサービスの数と利用率は。
答 吉野町が1、土成町が2、市場町が1、阿波町が3の計7事業所があり、令和3年度の実績では2,045人が利用しており、利用率は増加している。

坂東 重夫 議員 (はばたき)



問 令和3年度決算の見込みについて。
答 実質収支額は8億9,000万円の赤字になる見込みで、地方交付税が見込みより増加したことや、新型コロナウイルスの影響などによって執行率が低下したことが要因である。

等により、災害発生時の危険が高

まる可能性も踏まえ、強さとしなやかさをもった安全・安心な社会づくりを平時から備えるために、令和2年2月に阿波市国土強靱化地域計画を策定した。避難所支援策については、震度6弱以上の大規模地震発生時には、市内の指定避難所33か所を自動的に開設することとしており、避難者が避難所生活をストレスなく過ごせるよう、運営支援などのサポート体制の構築に努める。

問 今後、阿波市国土強靱化地域計画を具現化していくための対策について。
答 阿波市地域防災計画などの分野別計画を着実に実施、検証し、いかなる大規模自然災害が発生した場合においても、人命の保護が最大限図られることを基本理念に、強靱な地域づくりを計画的に進めていく。

木村 松雄 議員 (志政クラブ)



問 第2次阿波市総合戦略について、令和3年度の取組結果、4つの基本目標と今年度の施策、及び今後の第2次阿波市総合戦略において最も重要な事項は。
答 令和3年度の取組としては、地方移住推進事業、企業立地の促進、結婚から妊娠・出産から子育て情報発信強化、自主防災組織充実強化事業など77の事業に取り組んだ。目標値として、KPIの達成率が75%以上の事業は3分の2以上となっており、順調に推移している。人口減少に歯止めをかけるには、4つの基本目標ごとの取組を継続的に推進することが重要と考えている。特に重要事項として、地域防災力強化、子育て支援、(仮称)阿波スマートインテグレーションの整備、企業誘致の推進、移住・定住の促進の5点である。

者)に対する現状の施策、及び災害時の対応は。

答 本市では、高齢者等に対する施策として緊急通報装置を無料で貸与している。また、見守り協定事業所の協力を得て見守り体制の構築に取り組んでいる。災害時の対応としては、避難行動支援者名簿を作成している。

問 これからの阿波市のあるべき姿について市長の考えは。
答 10年先、20年先を見据えた持続可能なまちづくりに向け、3本の柱を施策の中心に据え、しっかりと取り組んでいく。

樫原 伸 議員 (志政クラブ)



問 担い手対策の実績と今後の取組について。
答 第2次阿波市農業振興計画において6つの主要施策を展開し、特に新規就農者の育成には積極的に取り組む、延べ351

人の実績となっている。2度目

となる地域おこし協力隊事業も検討している。
問 2024年度導入を目指すデジタル教科書について。
答 実際の学習では紙の教科書を基本としながらも、学習者用デジタル教科書で学ぶことがより効果的な場合は併用制も考えている。

問 歳入の確保について。
答 市税収入は市の財政基盤の根幹をなすもので、令和2年度の調定額に対する徴収率は94.8%で、前年度から1%上昇。ふるさと納税では約7,000万円の収入となっている。今年度より指定ごみ袋の広告募集を行い、約40万円の広告掲載料が収入される見込みである。

原田 健資 議員 (志政クラブ)



問 過疎計画について質問する。
答 令和4年第3回定例会は8月29日(月)に開会しています。詳しい日程は、議会事務局(0883136-8750)までお問い合わせください。

議案番号及び議決結果一覧表

令和4年第2回阿波市議会定例会（6月6日～6月29日）

議案番号	議案名	議決結果
議案第33号	令和4年度阿波市一般会計補正予算(第2号)について	原案可決
議案第34号	令和4年度阿波市一般会計補正予算(第3号)について	原案可決
議案第35号	阿波市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第36号	徳島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少に伴う徳島県市町村総合事務組合規約の変更について	原案可決
報告第2号	令和3年度阿波市一般会計繰越明許費繰越計算書について	—
報告第3号	令和3年度阿波市農業集落排水事業特別会計繰越明許費繰越計算書について	—
報告第4号	令和3年度阿波市水道事業会計予算繰越計算書について	—
請願第1号	裁判を受ける権利を求める請願	不採択
議案第37号	阿波市過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の制定について	原案可決
議案第38号	阿波市過疎地域持続的発展計画の策定について	原案可決
議案第39号	令和4年度阿波市一般会計補正予算(第4号)について	原案可決
議案第40号	教育委員会委員の任命について	同意
発議第5号	日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書について	原案可決
—	徳島県後期高齢者医療広域連合議会の議員選出について	選挙

議会たより編集雑感

選挙後、新人議員4名を迎えて、令和4年第2回定例会が6月6日に開会し、15人の議員が質問を行いました。質問内容が多かったのが、第2次阿波市総合計画と学校教育関係です。次がごみ処理施設・農業・くらしの問題。そして、過疎・給食・災害対策・ワクチン接種等が続きました。2年半も続いているコロナ感染と、ロシアのウクライナ侵攻が原因の物価高騰から、阿波市民3万5,000人の生活を守っていく市長の舵取りの手腕が期待される所です。(中野厚志)